

会計名 一般会計			家庭教育啓発指導事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	家庭教育の推進						
	目的	青少年育成市民運動の啓発、関係行政機関及び団体との連携や連絡等を行い、地域における青少年健全育成の推進を図る。			主たる内容	○青少年育成市民運動の啓発 ○街頭啓発活動の実施 ○夜間街頭補導の実施 ○中学校区生活指導懇談会の実施			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・児童生徒愛護の集い 1回 ・中学校区生活指導懇談会 6回		・青少年育成市民運動の啓発依頼 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・中学校区生活指導懇談会 6回	
成果		児童生徒愛護会等の活動を通して、青少年の健全育成や人間形成の基本となる家庭教育の重要性について啓発し、家族がふれあい、絆の強い明るい家庭づくりを促進した。中学校区の生活指導懇談会を北・中・南部の3箇所で行っていたものを各中学校ごとに開催することにより、参加人数が減り、アットホームな雰囲気、いろいろな意見が出た。							
課題		令和元年度で青少年育成市民運動地域推進員を廃止したため、今後は地域に啓発などについてお願いする必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		街頭啓発活動（回）			5	5	5	5	5
成果指標		中学校区生活指導懇談会参加者数（人）			430	425	347	420	420
他市との比較検証									
C 事業コスト V		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		321	336	194	181	合計	193,930 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	85,000 円	
		一般財源	321	336	194	181	需用費	80,730 円	
	職員人件費 ②		2,016	2,006	2,079	984	使用料及び賃借料	28,200 円	
	総事業費（①+②）		2,337	2,342	2,273	1,165			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			家庭教育啓発指導事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	子どもを健やかに育てる最初の間である家庭の役割の重要性について啓発を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		低い	青少年育成市民運動地域推進員を設置して啓発活動などを行っているが、推進員が各地区1名ではできることが限られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	青少年育成に関する市民への意識啓発については、市が主体となって行うことが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	街頭啓発や青少年育成強調月間に講演会を実施することにより、家庭教育の重要性を周知することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
青少年育成市民運動地域推進員を廃止したため、青少年の見守りや啓発活動については、地域全体で行えるような体制づくりを検討する。					

会計名 一般会計			ハツラツかりやっ子育成支援事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備						
	目的	青少年に自然体験、地域活動、異世代交流など多様な活動の機会を提供し、地域社会を基盤とした青少年健全育成の環境づくりを推進する。	主たる内容	複数の非営利団体が連携して実施する青少年健全育成に大きな効果が得られる先駆的な事業に対して、1事業10万円を上限として補助金を交付する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民（青少年）	事業期間	平成16年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・採択5事業 「ダンス・絵・トレース」（刈谷青年会議所等）「親子で！友達誘って！避難所生活体験」（双葉小PTAクラブ おやじの会等）「第18回小垣江ふれあい村」（小垣江小PTA等）「上映会を通じた居場所」（Film Staytion等）「サンキュースクール」（東刈谷小親父の会等）		・採択2事業 「読-1グランプリ」（刈谷青年会議所等） 「井ヶ谷幼稚園焼き芋パーティー」（井ヶ谷幼稚園サポーターズ会）		・採択2事業 「巨大流しそうめんver2.0 水鉄砲合戦住吉小の戦い」（住吉小学校お父さんの会等）「令和元年度サンキュースクール」（東刈谷小学校親父の会等）		・応募5事業	
成果		補助金を交付することにより、地域社会を基盤とした多様な活動の機会を提供し、家庭や学校及び地域が一体となってハツラツとした子どもを育む環境づくりを支援することができた。							
課題		PR先の拡充を行ったが、応募件数が伸びない。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
成果指標		補助対象採択事業数（事業）		5	2	2	5	5	
成果指標		参加者数（人）		785	253	228	600	600	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		499	200	199	500	合計 198,861 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 198,861 円		
		一般財源	499	200	199	500			
	職員人件費 ②		853	849	770	606			
	総事業費（①+②）		1,352	1,049	969	1,106			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	青少年の健やかな育成のために地域団体が自ら企画・運営する事業に対し補助金を支出することは、有意義かつ継続的な活動を支援するために必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	複数の地域団体が協働で青少年健全育成に関わり、地域の連携強化に繋がる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域住民及び非営利団体が中心となる活動の活性化にもなり、市が積極的に支援をすることは妥当と思われる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	青少年に多様な活動（自然体験、異世代交流等）の機会を提供し、家庭、学校、地域が一体となった青少年健全育成に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
他の補助金等との整合性を検討しながら、家庭、学校、地域が一体となった青少年健全育成活動を支援する必要がある。					

会計名			放課後子ども教室推進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	6	5								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	学校、家庭、地域が連携して放課後の子どもの安心・安全な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	主たる内容	地域の人々の参画を得て、遊びや学習、体験活動、地域住民との交流等の取組を行う放課後子ども教室を開設する。 【体験教室】 ○缶バッジ作り ○クリスマスグッズ作り ○抹茶体験 ○折り紙遊び ○ニュースポーツ ○英語遊び ○ダンス ○キッズヨガ など						
	位置づけ	関連計画	子ども・子育て育成支援事業計画、刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	放課後子ども総合プラン推進事業実施要綱、刈谷市放課後子ども教室事業実施要綱							
		対象者	各小学校に在籍する児童	事業期間	平成20年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO実績 計画V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、かりがね小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、かりがね小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小 【新設校】 小垣江東小		市内全小学校（15校）で実施		市内全小学校（15校）で実施		
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動や地域住民との交流を通して、子どもの社会性を育む機会を提供することができた。 ・学年、学級を超えた集団遊び等を通して、子ども同士の関わり方を学ぶことができた。 ・学校生活に慣れない子どもたちにも、学校に来る楽しみや元気を与えることができた。 ・一部の体験教室について、児童クラブとの合同開催により連携の強化を図ることができた。 ・教室のスペースに限りがあるため、登録者の受入れを工夫する必要がある。 								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		開設校数（校）			14	15	15	15	15	
成果指標		登録児童数（人）			1,157	1,266	1,361	1,350	1,350	
他市との比較検証		開設状況 碧南市：7校中1校、週3日、知立市：7校中7校、週5日、両市とも小学校の教室で開設。高浜市：5校中5校、週5日、小学校のグラウンドで開設（雨天時は体育館）。安城市：21校中0校（H29年度廃止）								
C事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費①		21,703	24,880	22,651	30,089	合計	22,650,906円		
	財源	特定財源	12,584	12,480	11,747	8,684	賃金	3,275,440円		
		一般財源	9,119	12,400	10,904	21,405	報償費	18,179,410円		
	職員人件費②		4,730	4,706	4,852	3,786	需用費	503,556円		
	総事業費（①+②）		26,433	29,586	27,503	33,875	役務費	337,396円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		放課後子ども教室推進事業費補助金						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			放課後子ども教室推進事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	児童が心豊かで健やかに育まれる環境整備推進のため、遊び、学び、体験、地域の方々と交流する場として、放課後の安全・安心な居場所づくりは必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	既存の学校施設を利用すること、また、地域の方々をスタッフとして活用することにより、効率的な事業の推進を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	本事業を実施するにあたっては学校関係者との連携、協力は必要であり、行政が主体となって積極的に関与することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	本事業に参加することにより、児童は日常的に交流することが少ない異年齢の子どもたちや地域の方々と接する機会ができ、本施策の青少年育成に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
	事業費の4割程度、県の補助金で賅っているが、令和2年度からコミュニティ・スクールの導入及び地域学校協働活動推進員の配置が補助要件に追加されたため、これらの導入が難しい場合は、規模縮小も含め放課後子ども教室の存続について検討する必要がある。				

会計名 一般会計			中高生の居場所づくり事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	中高生が放課後等に気軽に集まることができる居場所を提供する。また、中高生自らイベントの企画運営に携わることができる機会を提供することにより、中高生の自立を支援する。			主たる内容	放課後等に気軽に立ち寄り、学習や交流ができる中高生のための居場所を提供し、声かけや悩み等の相談対応、自主的な活動への支援を行う。また、大学生をピアカウンセラー（仲間として相談に応じる人）や学習支援を行うスタッフとして配置する。 ○場所 総合文化センター ○開催日 毎週火・木曜日 16時～21時			
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令	子ども・若者育成支援推進法						
		対象者	市内在住または在学の中高生			事業期間	平成22年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・利用者数 延べ763人 ・実施したイベント 「多目的ホール開放」始め5事業 参加者数 延べ87人		・利用者数 延べ1,404人 ・実施したイベント 「多目的ホール開放」始め3事業 参加者数 延べ86人		・利用者数 延べ985人 ・実施したイベント 「多目的ホール開放」始め4事業 参加者数 延べ92人		・利用者数 延べ700人 ・イベント 「多目的ホール開放」始め3事業 参加者数 延べ50人	
成果		仲間同士や大学生スタッフとの交流を深める中で、中高生が気軽に立寄ることができる居場所づくりができた。学習支援を併設し、利用目的を増やしたことにより、利用の活性化を図ることができた。							
課題		中高生の自主性や社会性を育む自主活動につながるイベント等の仕掛けが必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		延べ利用者数（人）			763	1,404	985	700	1,400
成果指標		中高生が関わったイベントの回数（回）			9	13	17	10	17
他市との比較検証		碧南市 類似事業の実施（「ららくるにしばた」学習支援）							
C 事業コスト V		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,969	2,043	2,435	2,417	合計	2,435,119 円	
	財源	特定財源	114	220	384	223	委託料	2,435,119 円	
		一般財源	1,855	1,823	2,051	2,194			
	職員人件費 ②		2,171	2,160	1,925	2,120			
	総事業費（①+②）		4,140	4,203	4,360	4,537			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0		地域未来塾等学校支援活動事業費補助金			
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			<h2 style="margin: 0;">中高生の居場所づくり事業</h2>	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	地域でのコミュニケーションの欠如、若者の自立の遅れ等、社会環境が変化する中、中高生が気軽に立寄り社会参加できる場所が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	大学生をピアカウンセラーとして養成し、大学生自身の意識、能力向上に繋げ、またその大学生をスタッフとして配置することで事業の効果が期待できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	中高生が放課後等に気軽に立ち寄るなかで交流を深め、悩み事を安心して相談できる環境づくりが必要であるため公共施設内に開設し市が関与することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	安心して過ごせる居場所を設け、同世代の仲間との交流や悩みの相談等を行うことで、中高生の自立を支援することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、中高生が放課後に気軽に立寄りすることができる居場所を提供するとともに、ボランティア活動や地域活動など中高生の社会参加を支援する。また、ピアカウンセラーもしくは学習支援員としての大学生スタッフの確保に努めるなど、学習支援を実施し、利用の活性化を図りたい。					

会計名 一般会計			市民講座開設等事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	13					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化					
			基本施策	生涯学習					
			施策の内容	学習機会の充実					
	目的		中央生涯学習センターにおいて、大学連携講座を始めとする各種市民向け講座及びイベントを行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。			主たる内容	○市民講座の開催 ○大学連携講座（愛知教育大学、名城大学、至学館大学、愛知工業大学）の開催 ○市民講師企画講座の開催 ○刈谷まなびの広場の開催		
	位置づけ		関連計画	刈谷市生涯学習推進計画					
			根拠法令						
	対象者		市内在住・在勤または在学の人			事業期間	～		
	実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・市民講座 32講座633人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 4講座112人受講 名城大学 2講座 89人受講 至学館大学 1講座 31人受講 愛知工業大学 1講座 12人受講 ・刈谷まなびの広場 9講座201人受講		・市民講座 32講座615人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 4講座89人受講 名城大学 2講座80人受講 至学館大学 1講座30人受講 愛知工業大学 1講座36人受講 ・刈谷まなびの広場 14講座215人受講		・市民講座 32講座566人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 4講座85人受講 名城大学 2講座24人受講 至学館大学 1講座44人受講 愛知工業大学 1講座39人受講 ・刈谷まなびの広場 中止		・市民講座 16講座 ・大学連携講座 1講座 ・刈谷まなびの広場 10講座	
成果		大学連携講座では、大学教授等による専門的な講座を実施することにより、市民の学習意欲の向上及び学習活動の活性化を図ることができた。							
課題		大学連携講座の実施においては、大学の協力を得る必要があるため、目標値の達成を目指し、大学との密な調整を通じて引き続き質の高い講座を一定数確保するよう努める必要がある。							
		指標名称（単位）		実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		市民講座の年間受講者数（人）			633	615	566	320	640
成果指標		大学連携講座の年間受講者数（人）			244	235	192	150	350
他市との比較検証		各市の講座実施実績より（HP参照） 安城市：公民館講座（10公民館） 192講座実施、延べ4,344人参加 碧南市：生涯学習講座 6講座、延べ867人参加							
C 事業 コスト 建設 事業		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		12,014	12,167	11,668	12,772	合計 11,667,945 円		
	財源	特定財源	40	43	21	297	役務費 29,528 円 委託料 11,317,955 円 使用料及び賃借料 299,462 円 負担金、補助及び交付金 21,000 円		
		一般財源	11,974	12,124	11,647	12,475			
	職員人件費 ②		4,808	3,819	2,850	3,105			
	総事業費（①+②）		16,822	15,986	14,518	15,877			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		講座受講料					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており、事業の必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各種講座、生涯学習イベントの開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	時代の変化と市民ニーズに対応したプログラムの提供、生涯学習イベントの開催など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	各種講座及び生涯学習イベントを実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き中央生涯学習センターにおいて大学連携講座をはじめとする各種講座及び生涯学習イベントを行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			（仮称）野田市民館整備事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	野田地区に市民館を整備することにより、市民館を拠点とした地域住民のコミュニティ活動及び生涯学習の活性化を推進する。	主たる内容	○市民館の用地取得 ○市民館の建設 構造：鉄筋コンクリート造2階建て 規模：延床面積 436.95㎡					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設整備要綱						
	対象者	市民（野田地区）	事業期間	平成29年度～令和元年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 実施設計 物件移転補償の積算 事業認定申請図書の作成 事業説明会の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 用地取得 1,100.01㎡ 物件移転補償 		<ul style="list-style-type: none"> 市民館の建設 市民館備品等の整備 		—	
成果		関係機関等との調整に難航したが、市民館建設用地を無事に取得することができた。また、事業認定手続きの一環として野田地区にて説明会を開催し、地域住民に周知することができ、市民館の建設が望まれていることが確認できた。野田市民館建設準備委員会と密に連絡を取り、市民館の建設が完了し、市民館を開設することができた。							
課題		市民館建設の事業目的は生涯学習の推進であり、建設後の市民館を効果的に活用してもらうことが非常に重要であり、今後の課題である。野田地区の役員を中心に組織された野田市民館運営委員会による管理運営が開始されたので、野田地区本位のコミュニティ活動拠点として活用してもらい、生涯学習をさらに推進していく。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		生涯学習を推進する市民館の施設数（施設）			22	22	22	23	23
成果指標		施設が整い、文化やスポーツ、学習活動しやすいと思う市民の割合（%）			—	77.0	—	77.0	77.0
他市との比較検証		類似事例なし							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		15,790	120,451	258,624	0	合計	258,623,975 円	
	財源	特定財源	0	0	51,249	0	需用費	1,345,916 円	
		一般財源	15,790	120,451	207,375	0	委託料	2,310,000 円	
	職員人件費 ②		2,753	2,006	1,617	0	工事請負費	202,457,200 円	
	総事業費（①+②）		18,543	122,457	260,241	0	公有財産購入費	42,571,290 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		394,865,819		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		394,865,819		前年度繰越金			
		3年度以降の事業費見込		0					
							備品購入費	1,150,270 円	
						負担金、補助及び交付金	111,240 円		
						補償、補填及び賠償金	8,678,059 円		

会計名			(仮称) 野田市民館整備事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	刈谷市市民館建設整備協議会答申に基づき、一地区に一市民館を整備してきた経緯、平成27年野田地区分割を契機に提出された野田地区からの市民館建設の要望書等により、野田地区のコミュニティ活動の拠点施設に関する市民ニーズは高いと判断できる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	刈谷市市民館施設整備要綱に基づき、地区世帯数からその規模を設定し、適正な規模での整備を推進している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民館は、市が設置して地域が管理運営することで、地域本位のコミュニティ活動拠点として、日常生活圏における生涯学習の効果的な推進が図られていることから、市主体で整備すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	野田地区に市民館を整備することで、講座や教室など地域のコミュニティ活動を実施する場が創出され、学習機会の充実、生涯学習の推進、住みやすさなどの市民満足度の向上への寄与が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
令和元年度に市民館の建設が完了した。 建設後は、野田地区のコミュニティ活動の拠点として野田地区住民の利用に供するとともに、野田地区が管理運営する野田地区本位の活動施設として管理運営を行っていく。					

会計名 一般会計			市民講座開設等事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1			担当係	推進係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	南部生涯学習センターと北部生涯学習センターにおいて、各種市民向け講座を行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。			主たる内容	○市民講座の開催 ・連続講座 ・パソコン講座 ・タブレット講座 ・1DAY講座			
	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	市内在住・在勤または在学の人			事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
				<ul style="list-style-type: none"> 南部生涯学習センター市民講座 17講座251人受講 北部生涯学習センター市民講座 24講座294人受講 南部生涯学習センター1DAY講座 6講座105人受講 北部生涯学習センター1DAY講座 6講座88人受講 		<ul style="list-style-type: none"> 南部生涯学習センター市民講座 17講座227人受講 北部生涯学習センター市民講座 24講座285人受講 南部生涯学習センター1DAY講座 6講座71人受講 北部生涯学習センター1DAY講座 6講座61人受講 		<ul style="list-style-type: none"> 南部生涯学習センター市民講座 8講座 北部生涯学習センター市民講座 12講座 南部生涯学習センター1DAY講座 3講座 北部生涯学習センター1DAY講座 3講座 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 今まで実施したことのないジャンルの講座を、積極的に企画・実施することができた。 市民講師企画講座で講師を経験し、引き続き市民講座の講師を務めたいと希望する市民に対し、活躍の場を提供することができた。 							
課題		市民講座の中には、定員に達しない講座がいくつかあった。講座内容をマンネリ化させず、市民が受講したいと思える魅力ある講座を企画していけるように工夫していく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標	講座の年間受講者数（人）			—	738	644	375	800	
活動指標									
他市との比較検証	各市の講座実施実績より（HP参照） 安城市：公民館講座（10公民館） 192講座実施、延べ4,344人参加 碧南市：生涯学習講座 6講座、延べ867人参加								
C 事業 コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	23,988	24,111	26,692	合計	24,110,702 円	
	財源	特定財源	0	1,371	1,236	1,494	委託料	23,178,076 円	
		一般財源	0	22,617	22,875	25,198	使用料及び賃借料	932,626 円	
	職員人件費 ②		0	4,398	2,850	2,802			
	総事業費（①+②）		0	28,386	26,961	29,494			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
	元年度までの累積事業費		0		講座受講料				
	3年度以降の事業費見込		0						

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしております事業の必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	時代の変化と市民ニーズに対応したプログラムの提供など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き北部及び南部生涯学習センターにおいて各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			市民休暇村大規模改造事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	11								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	平成10年のオープンから20年を経過し、老朽化した設備等を更新するとともに、近年のトレンドや利用者ニーズを的確に捉えたリニューアルを実施し、施設の利用環境の向上と市民の福祉の増進を図る。	主たる内容	○建物及び設備の劣化状況調査 ○基本・実施設計 ○大規模改造工事 構造：鉄筋コンクリート造 地下1階、地上3階建て 敷地面積：34,310㎡ 延床面積：3,745㎡						
	位置づけ	関連計画	刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画							
		根拠法令	刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則							
		対象者	市民	事業期間	平成30年度～令和3年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
DO 実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画			
	_____		・建物及び設備の劣化状況調査 ・リニューアル計画の作成		・実施設計		_____			
	成果	現状の施設及び設備に関して劣化状況調査を行い、今後20年施設を維持するための改修計画を作成するとともに、高い稼働率を維持していくためのさらなる魅力アップを検討し、リニューアル計画を作成することができた。								
	課題	作成したリニューアル計画をもとに費用対効果を考慮しながら、必要最小限の経費で最大限の魅力アップを図ることができる実施設計を行うとともに、リニューアル後の魅力的な管理運営を行うための検討を行っていく必要がある。								
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
	成果指標	年間客室稼働率（％）		81.0	80.0	78.1	40.0	80.0		
	活動指標	宿泊客数（人）		12,280	11,885	11,572	6,000	12,000		
他市との比較検証	尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」継続運営 豊田市「リゾート安曇野」H31.3.31廃止済 岡崎市「桑谷山荘」H23.12.31廃止済、碧南市「車山みどり山荘」H23.3.30廃止済									
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費①		0	3,715	33,880	0	合計	33,880,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	33,880,000円		
		一般財源	0	3,715	33,880	0				
	職員人件費②		0	1,196	1,232	0				
	総事業費（①+②）		0	4,911	35,112	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		994,595		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		37,595								
3年度以降の事業費見込		957,000								

会計名			市民休暇村大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	11			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	開館から20年経過した現在でも80%を超える高い稼働率を誇る人気施設であること、また近年の働き方改革などの社会情勢からも市民の余暇の活用を図る目的で設置された市民休暇村の果たす役割は大きいことから、その必要性は高いと判断できる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	公共施設維持保全計画に基づき、開館20年を経過した施設又は設備を計画的に改修し、施設の長寿命化を図るための予防保全を実施するとともに、高い稼働率を維持するための魅力アップ改修を同時に実施し、効率的な投資を実施する。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	宿泊業は民間では成熟した産業であるため、市が実施する必要性は必ずしも高くないが、市が実施することで市民限定の特別な宿泊施設として、高い稼働率に裏付けられる高い市民ニーズに応えることができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	豊かな自然環境の中、市民の心身の健全な育成と余暇の活用を図るといふ他に類のない市民サービスを提供することができ、市民のワーク・ライフ・バランスの実現を支援する施策に貢献する事業である。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
<p>令和3年度に大規模改造工事を実施し、事業完了予定。 事業完了後は、リニューアルした施設をしっかりとPRするとともに、新たな施設及び設備を活用した魅力的な管理運営を展開し、現状でも80%を超えている高い稼働率の維持拡大を図っていく。</p>					

会計名			西境市民館大規模改造事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	1							
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	老朽化した市民館の大規模な改修を行うことにより、安全で快適な施設を維持するとともに、施設の長寿命化を図る。	主たる内容	西境市民館大規模改造工事 構造：鉄筋コンクリート造2階建て 規模：延床面積 406.16㎡					
	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画							
	根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例							
	対象者	市民（西境地区）	事業期間	平成29年度～令和元年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・実施設計		_____		・大規模改造工事		_____	
成果		指定管理者である西境市民館運営委員会と協議を重ね、施設又は設備の改修にあわせて使い勝手の向上にも努め、施設の長寿命化を図ることができた。							
課題		今後も、指定管理者と連携しながら管理運営や日常点検を行い、施設の老朽化に伴う異常や設備の故障などに対しては必要に応じて改修を行っていく。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		市民館の大規模改修率（％）			—	—	4.3	4.3	4.3
成果指標		市民館の利用者満足度（％）			95.5	90.9	86.4	90.0	90.0
他市との比較検証		類似事例なし							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	43,476	0	合計	43,476,400 円	
	財源	特定財源	0	0	21,000	0	工事請負費	43,476,400 円	
		一般財源	0	0	22,476	0			
	職員人件費 ②		0	0	1,232	0			
	総事業費（①+②）		0	0	44,708	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		43,476,400		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		43,476,400		公共施設維持保全基金繰入金			
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			西境市民館大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民館は地域のコミュニティ活動拠点であり、多くの地域サークル、地区、公民館の活動に利用されている。施設や設備の老朽化に伴う改修は、施設を安全に利用していく上で必要であり、コミュニティ活動の促進につながる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	公共施設維持保全計画に沿った計画的な施設や設備の改修であり、施設の長寿命化、予防保全の考え方など長期的な視点から総合的に最適な投資を行うことができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民館は、市が設置して地域が管理運営することで、地域本位のコミュニティ活動拠点として、日常生活圏における生涯学習の効果的な推進が図られている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	市民館を安定的に利用可能な状態に維持することで、地域のコミュニティ活動を支え、学習機会の充実、生涯学習の推進、住みやすさなどの市民満足度の向上への寄与が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
公共施設維持保全計画に基づき、大規模改造工事を実施した。 今後とも、日頃から指定管理者である西境市民館運営委員会と連携を図り、日常点検結果など施設の状況を常に把握できるよう努め、必要な改修等を実施し、施設の長寿命化を図っていく。					

会計名 一般会計			文化振興事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	13					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	市民に舞台芸術とふれあう機会を提供し、文化芸術意識の向上を図る。		主たる内容	文化芸術創造の拠点である総合文化センターで、指定管理者が実施する各種の文化普及鑑賞事業を支援する。 また、発表の場としての機能を提供することで、市民の芸術文化活動を支援する。				
	位置づけ	関連計画			刈谷市文化振興基本計画				
			根拠法令		劇場、音楽堂等の活性化に関する法律				
		対象者		対象者を限定せず		事業期間	平成23年度～		
		実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
B D O 実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
	29事業(有料23事業・無料6事業)を実施、入場者延35,329人 ・大ホール利用 687回 245,421人 ・小ホール利用 526回 47,944人 ・リハーサル室1利用 393回 13,528人 ・リハーサル室2利用 519回 12,581人		38事業(有料31事業・無料7事業)を実施、入場者延30,558人 ・大ホール利用 697回 245,942人 ・小ホール利用 589回 49,383人 ・リハーサル室1利用 364回 12,530人 ・リハーサル室2利用 552回 12,209人		32事業(有料28事業・無料4事業)を実施、入場者延28,489人 ・大ホール利用 558回 187,895人 ・小ホール利用 502回 43,685人 ・リハーサル室1利用 313回 12,348人 ・リハーサル室2利用 485回 10,940人		33事業(有料28事業・無料5事業)を実施 (内、新型コロナウイルス感染症の影響により13事業中止)		
	成果	・大ホールでの自主事業として、「大植英次・大阪フィルハーモニー交響楽団刈谷公演」(11月2日)、ミュージカル「ビッグ・フィッシュ」(12月7日～8日)などを実施し、多くの市民に鑑賞してもらうことを通じて舞台芸術の普及、振興に寄与することができた。 ・アウトリーチ事業を11箇所で開催し、市民が気軽に芸術鑑賞できる機会を提供することができた。							
	課題	・全体としてほぼ想定どおりの入場者数だったが、引き続き事業数の確保だけでなく、事業選定の段階から入場者の見込みについても実績を踏まえながら留意していく必要がある。 ・市民のニーズを捉え、実施内容について検討する必要がある。							
	指標	指標名称(単位)		実績値			目標値		
成果指標	文化振興事業入場者数(人)		29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
成果指標	大ホール稼働率(%)		89.7	89.3	70.5	40.0	80.0		
C コスト	他市との比較検証	同規模の文化施設等の管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体、施設名、事業数 一宮市：一宮市民会館 17事業 広島県三原市：三原市芸術文化センター 20事業 兵庫県明石市：明石市民会館 25事業							
	単位：千円	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(予算)	元年度事業費内訳			
事業費①	30,429	31,795	34,933	38,279	合計	34,932,851円			
財源	特定財源	0	1,500	0	委託料	34,932,851円			
	一般財源	30,429	30,295	34,933					
職員人件費②	4,808	4,205	3,620	3,332					
総事業費(①+②)	35,237	36,000	38,553	41,611					
建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		元年度特定財源名称				
	元年度までの累積事業費		0						
	3年度以降の事業費見込		0						

会計名			文化振興事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	身近な場所で各種の文化普及・鑑賞事業を開催することで、市民の舞台芸術作品の鑑賞機会に対するニーズを実現している。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	指定管理者による運営を行うことで民間の備えるノウハウを活用し、地方自治体の文化施設では招聘することが難しい事業を開催することに成功している。 大規模公演は、共同主催の形で実施し、リスクを抑えながら質の高い舞台公演を開催している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	文化芸術創造の拠点となることで、「誇りと愛着もてるまちづくり」施策を実現している。 普及活動としての市民スタッフ育成事業や市民の発表支援を通じて、「市民が活動しやすい施設・環境づくり」施策を実施している。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	著名なアーティストや、芸術性の高い公演を実施することにより、身近に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで市民サービスの向上を図っている。 また、センターの知名度向上により、刈谷市の認知度アップに貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
ホール及びシティセールスとしての著名な公演の誘致と、市民や地域の文化芸術の振興に寄与する公演をさらにバランスよく編成していく。					

会計名 一般会計			刈谷からの文化発信創作事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	13					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	総合文化センターの市民スタッフ「文化工房かりや」を中心とし、公募の市民とともに舞台芸術を創造・表現・発表することで、刈谷の文化を掘り起こし、刈谷への愛着・誇りを醸成する。	主たる内容	○台本の作成 ○関連ワークショップの開催 ○市民劇出演者及び舞台スタッフの公募 ○市民劇の開催					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	令和元年度 ~ 令和2年度				
		実施方法	□直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		—		—		・台本作成 ・関連ワークショップ 6回 119人		・出演者及び舞台スタッフの公募 ・公演実施	
成果		・台本作成に際して、地域の歴史資源を学ぶためのスタッフ向けワークショップを開催したことで、理解を深めながら地元への愛着を醸成することに繋がった。 ・一般市民に対しては、歌や演技に関する公募型ワークショップを開催し、出演者公募に向けて応募者の掘り起こしを行うことができた。							
課題		・出演者及び舞台スタッフの多くを一般市民から公募するため、事業の広報を積極的に行うことで、市民への周知を図り、年齢性別に偏らない幅広い人材の確保が必要となる。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		入場者数（人）			—	—	—	360	—
指標									
他市との比較検証		施設付きのボランティア団体がある近隣市は、大府市と知立市があるが、ボランティアスタッフが主体となって企画公演を行っている団体はない。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	350	5,186	合計	350,000 円	
	財源	特定財源	0	0	100	1,700	委託料	350,000 円	
		一般財源	0	0	250	3,486			
	職員人件費 ②		0	0	2,079	2,878			
	総事業費（①+②）		0	0	2,429	8,064			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費			0	一般財団法人 地域創造助成金			
3年度以降の事業費見込			0						

会計名			刈谷からの文化発信創作事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民の出演者を募り、市民が中心となって企画運営する、市民参加型の舞台芸術を制作する機会を提供することは、文化振興において重要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	総合文化センターの事業として、指定管理者がボランティアスタッフと協働することで、事業運営や経理などが適正に行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	舞台芸術作品を鑑賞するだけでなく、市民が主体となって創造・制作する機会を提供するために、市が支援していくことは円滑な事業実施を進めていく上で妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	地域の歴史資源を題材とした市民劇に携わることで地元への愛着を醸成するとともに、市民が主体となって文化芸術を創造していくことは、刈谷の文化振興に大きく寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
市民ボランティアスタッフの創作能力を養い、事業終了後も引き続き、創作を織り交ぜた公演を開催していけるようにする。					

会計名 一般会計			青少年健全育成事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備						
	目的	市内小・中・高等学校、関係機関で組織する児童生徒愛護会の活動を中心に、児童生徒の生活指導、安全確保などの取組みを行い、青少年の健全育成を図る。	主たる内容	○夏季・冬季休業中、テスト期間中、夜間等街頭補導の実施 ○児童生徒愛護の集いの開催 ○善行美徳表彰の実施 ○家庭の日・青少年作文コンクール、家族への手紙コンクールの実施 ○青年学級の開設					
	位置づけ	関連計画							
	根拠法令								
	対象者	市民		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰21件25人 ・危険箇所調査85箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール応募399通 ・家族への手紙コンクール 応募642通 ・合同街頭補導実施延べ400日		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰21件31人 ・危険箇所調査97箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール応募644通 ・家族への手紙コンクール 応募900通 ・合同街頭補導実施延べ374日		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 6箇所実施 ・児童生徒愛護の集い開催 ・善行美徳表彰21件29人 ・危険箇所調査73箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール790通 ・家族への手紙コンクール 応募829通		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 6箇所実施 ・善行美徳表彰 ・危険箇所調査 ・合同街頭補導実施延べ250日	
成果		青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、学校、家庭、地域が青少年育成について情報交換を行い、共通の認識を得ることができた。また、学区内危険箇所調査を通学路改善要望と合同で実施し調査の効率化を図った。							
課題		小中学校の児童生徒に関する取組みを図ることはできているが、高校生の年代への取組みが希薄である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		合同街頭補導（延べ日数）		440	374	358	250	400	
成果指標		児童生徒愛護の集い参加者数（人）				181	0	1,000	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,270	2,276	2,181	2,928	合計 2,181,482 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	541,783 円	
		一般財源	2,270	2,276	2,181	2,928	旅費	22,180 円	
	職員人件費 ②		2,792	2,778	3,620	3,559	需用費	745,519 円	
	総事業費（①+②）		5,062	5,054	5,801	6,487	委託料	819,700 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			キッズクラブ事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	週末に子どもの安全・安心な活動拠点を設け、遊び、文化活動等の体験活動を通じ、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	主たる内容	小・中学生を対象に市内3箇所の生涯学習センターでキッズクラブを開設し、子どもたちが安心して集うことができる居場所を提供する。 ○開催場所 ・たんぼぼ 南部生涯学習センター ・アイリス 刈谷市総合文化センター ・かきつばた 北部生涯学習センター ○開催日 6月から3月 月3回土曜日の午前または午後					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		放課後子ども総合プラン推進事業実施要綱、刈谷市キッズクラブ事業実施要綱					
		対象者	市内在住の小・中学生	事業期間	平成17年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 372人 ・アイリス 371人 ・かきつばた 188人 合計 931人		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 326人 ・アイリス 524人 ・かきつばた 132人 合計 982人		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 308人 ・アイリス 321人 ・かきつばた 110人 合計 739人		【参加予定人数】 ・たんぼぼ 240人 ・アイリス 240人 ・かきつばた 120人 合計 600人	
成果		創作活動、自然体験など、様々な活動を通して地域住民や異世代交流を図るとともに、週末の安全・安心な居場所を提供する事ができた。							
課題		ほとんどのプログラムは申込不要であるため、参加児童に対するスタッフの過不足が生じる。また、各会場により事業の認知度に基づく参加者数の差が生じている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標	開催数（回）		80	80	71	50	80		
成果指標	参加者数（人）		931	982	739	600	1,000		
他市との比較検証	高浜市は1校のみPTA土曜クラブに委託し、家庭科、書道、剣道、ちぎり絵、フルートの5クラブ制で開催している。								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費①		2,807	2,899	2,763	2,920	合計		2,763,196円
	財源	特定財源	1,124	1,177	1,016	688	委託料		
		一般財源	1,683	1,722	1,747	2,232			
	職員人件費②		1,628	1,620	1,617	1,363			
	総事業費（①+②）		4,435	4,519	4,380	4,283			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		放課後子ども教室推進事業費補助金					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			青年講座開催事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	6	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	青少年に多様な学習・体験活動の機会の場を提供し、生涯学習の推進、ボランティア活動への参加促進を図る。		主たる内容	市内在住・在勤または在学の18～39歳の青少年を対象に、文化・芸術・福祉・スポーツなどの各種講座を開催する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内在住・在勤・在学の18～39歳		事業期間	平成7年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・青年講座4期32回 第1期 体に優しい野菜とお米のスイーツづくり 8回 第2期 筆ペンで書いて伝える想いや気持ち 8回 第3期 初心者のためのHip-Hop 8回 第4期 憲俊流剣術殺陣の会 8回 受講生延べ205人		・青年講座4期30回 第1期 やってみよう！おうちでランチ、おもてなし 8回 第2期 竹籠細工と革雑貨づくり 8回 第3期 やってみよう！はじめてのフードアート 8回 第4期 一眼レフ初心者のためのフォトレッスン 6回 受講生延べ504人		・青年講座4期26回 第1期 暮らしを彩るフラワーアレンジメント 5回 第2期 はじめてのウクレレ講座 8回 第3期 ベリーダンスでキレイをつくろう 8回 第4期 ヨガとピラティスで心身を美しく整えよう 5回 受講生延べ224人		・青年講座3期24回	
成果		・青少年に多様な学習、体験活動の機会の場を提供することができた。 ・講座終了後に受講生が交流会を持つ等、仲間づくりの場を提供することができた。							
課題		・自主活動や生涯学習につながる講座を企画する必要がある。講座によっては参加者が集まらない講座があった。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		募集案内配布事業所数（ヶ所）		33	33	33	33	33	
成果指標		受講者数（人）		36	77	44	60	80	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		547	433	417	741	合計	417,217 円	
	財源	特定財源	20	65	26	144	報償費	248,000 円	
		一般財源	527	368	391	597	需用費	3,651 円	
	職員人件費 ②		3,412	3,395	3,235	2,347	使用料及び賃借料	165,566 円	
	総事業費（①+②）		3,959	3,828	3,652	3,088			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		青年講座受講料					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			成人式開催事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	5					担当係	青少年係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	刈谷市成人式実行委員会との共催で成人式を開催し、次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする意欲の向上を図る。				主たる内容	新成人の中から実行委員会を組織し、式の企画、運営を行い、心に残る成人式を開催する。			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	新成人			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
開催日		平成30年1月7日	開催日	平成31年1月13日	開催日	令和2年1月12日	開催日	令和3年1月10日		
会場		刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター		
対象者数		1,669名	対象者数	2,048名	対象者数	1,874名	対象者数	約1,940名		
参加者数		1,190名	参加者数	1,388名	参加者数	1,289名				
成果		成人式を行うことにより、新成人が恩師や旧友らと話し合う機会となり、大人として今後どのように生きていくかを語るきっかけとなった。 実行委員会により自主的な式の企画・運営を行うことにより、社会参加の機会を提供することができた。								
課題		実行委員の募集について学校の推薦に頼るところが多く、学校側の負担感が増しているため、公募及び紹介による確保に移行できるよう実行委員会の魅力発信に検討を要する。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
成果指標		協力ボランティア（THE成人・次年度実行委員）の参加人数（人）			40	31	27	48	48	
成果指標	成人式参加率（％）			71.3	67.8	68.8	73	73		
他市との比較検証	碧南市、安城市、知立市、高浜市、東浦町は成人式実行委員会を組織し、実施している。									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		3,797	3,978	4,045	4,875	合計 4,044,790 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 3,443,510 円			
		一般財源	3,797	3,978	4,045	4,875	使用料及び賃借料 601,280 円			
	職員人件費 ②		4,808	4,784	4,621	4,922				
	総事業費（①+②）		8,605	8,762	8,666	9,797				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費			0					
3年度以降の事業費見込			0							

会計名 一般会計			家庭教育地域推進事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	核家族化が進み、子どもへの接し方がわからないと不安を抱える親が増加している現状に対し、家庭教育の重要性を認識する必要があるため、各種事業を地域において実施し、家庭や地域の教育力の向上を図る。				主たる内容	小学校区家庭教育推進協議会への事業委託			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		住吉小学校区家庭教育地域推進協議会 実績8,842人 ・50周年記念行事 ・ボランティア活動 ・児童体験教室 ・防災活動		住吉小学校区家庭教育地域推進協議会 実績1,398人 ・ボランティア活動 ・児童体験教室 ・避難所訓練 ・超巨大流しそうめんとペットボトルロケット大会		東刈谷小学校区家庭教育地域推進協議会 実績 2,161人 ・プログラミング教室 ・ボランティア活動 ・災害対策訓練 ・親父の会企画「ウィンタースクール」「サンキュースクール」		東刈谷小学校区家庭教育地域推進協議会		
成果		学校、家庭、地域が協力して家庭教育地域活動、親子等ふれあい活動を行い、家庭教育への意識の高揚が図られた。								
課題		事業を委託する学校により活動内容が異なるため、参加者の増減のみで事業の達成度を評価することが困難である。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		家庭教育地域推進事業の実施				実施	実施	実施	継続実施	継続実施
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		270	270	270	270	合計	270,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	270,000 円		
		一般財源	270	270	270	270				
	職員人件費 ②		2,094	1,620	1,617	909				
	総事業費（①+②）		2,364	1,890	1,887	1,179				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費			0							
3年度以降の事業費見込			0							

会計名 一般会計			P T A 活動育成事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1					担当係	推進係	
P L A 事 業 概 要 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	P T A 会員の教養の向上や相互の親睦を図ることにより、P T A 活動の育成を図る。				主たる内容	○ P T A 連絡協議会育成補助 ○ 会場借上料補助 ○ 日本 P T A 全国研究大会参加補助		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	各小中学校・幼稚園 P T A			事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実 績 実 施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会敦賀大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会仙台大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会愛知大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会新潟大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会三重大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会兵庫大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業	
成果		総会、研究大会などの実施により P T A 活動の活性化を図ることができた。							
課題		毎年行われる全国大会・東海北陸大会の開催地や活動発表の有無により参加人数が異なり、それに合わせて補助額が増減する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		P T A 総会など各種研修会の実施			実施	実施	実施	継続実施	継続実施
指標									
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト V		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		363	424	321	389	合計	320,590 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	320,590 円	
		一般財源	363	424	321	389			
	職員人件費 ②		2,481	2,392	2,465	1,363			
	総事業費（①+②）		2,844	2,816	2,786	1,752			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			生涯学習推進事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	刈谷市生涯学習推進計画に基づき各種事業を実施することで、市民の学習活動への取組みを支援する。			主たる内容	○第3次刈谷市生涯学習推進計画の見直し ○生涯学習に関する研修会の開催			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
			根拠法令						
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 実績 O 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 指導者研修会 生涯学習リーダー基礎知識講座 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 グループ・サークル研修会 生涯学習リーダーステップアップ研修 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 指導者研修会 生涯学習リーダー基礎知識講座 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 第3次刈谷市生涯学習推進計画の見直し 職員研修会 グループ・サークル研修会 生涯学習リーダーステップアップ研修 	
成果		生涯学習指導者に対し研修会を実施し、生涯学習活動への取組みを支援することができた。							
課題		生涯学習リーダーの活動が継続して行われるよう引き続き支援をする必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		生涯学習推進員（生涯学習リーダー）の人数（人）			27	32	26	32	37
成果指標		グループ・サークル名簿登録団体数（団体）			203	169	166	230	300
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,901	1,455	1,441	415	合計 1,440,750 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 162,900 円		
		一般財源	1,901	1,455	1,441	415	需用費 1,274,400 円		
	職員人件費 ②		5,583	4,398	4,390	4,241	使用料及び賃借料 3,450 円		
	総事業費（①+②）		7,484	5,853	5,831	4,656			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			公民館事務費事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	公民館活動の功績が顕著な方の表彰や県が実施する事業へ参加することにより、公民館事業の円滑な実施を図る。				主たる内容	中央公民館長表彰に要する経費のほか、県が実施する公民館関係事業へ参加するための経費を支出する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰10名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰14名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰10名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰8名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		
成果		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰の実施により、多年にわたる公民館活動への取組みを広く知らしめるとともに、他の者への活動の励みとなった。 県の主催する公民館関係事業へ参加することにより、各市町の活動状況などを把握することができた。 								
課題		<ul style="list-style-type: none"> 毎年総合式典に合わせて行われる中央公民館長表彰の対象者数により、記念品費などが増減する。 各種会議での報告は、会議へ参加しなくても書面で十分な場合があることを踏まえ、事務の軽減を検討する必要がある。 								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		中央公民館長表彰実施及び各種会議参加				実施	実施	実施	継続実施	継続実施
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト 建設事業		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		92	103	112	111	合計	112,064 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	20,000 円		
		一般財源	92	103	112	111	旅費	2,500 円		
	職員人件費 ②		3,257	2,083	2,465	1,817	需用費	46,964 円		
	総事業費（①+②）		3,349	2,186	2,577	1,928	負担金、補助及び交付金	42,600 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			公共施設予約案内システム管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	公共施設の空き状況の確認、利用予約などの手続きがインターネットで可能となるシステムを運用する。	主たる内容	公共施設予約案内システムの管理						
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市公共施設予約案内システムに関する規則、刈谷市教育委員会公共施設予約案内システムに関する							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成13年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 機器リース 		<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 機器リース 機器更新 		<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 機器リース 		<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 機器リース 		
成果		利用者は公共施設を利用するにあたり、予約手続きが容易になるとともに、施設側では使用料の現金収納が減ること、事務の簡素化及び現金の紛失・盗難のリスクを回避することができた。								
課題		システムの利用推進を図るため、予約案内システムを広く周知し、システムによる予約申込件数を増加させる。								
O 実施	指標名称（単位）			実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
	成果指標	システムによる施設予約申込件数（件）		84,839	86,266	91,792	75,000	90,000		
	指標									
他市との比較検証	あいち共同利用型施設予約システム 安城市、知立市始め県内28市町 独自システム 碧南市、刈谷市ほか システム未導入 高浜市									
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		10,674	12,899	12,120	12,387	合計	12,120,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,236,222 円		
		一般財源	10,674	12,899	12,120	12,387	役務費	157,986 円		
	職員人件費 ②		3,722	2,778	2,272	2,537	委託料	8,910,096 円		
	総事業費（①+②）		14,396	15,677	14,392	14,924	使用料及び賃借料	1,815,696 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			市民館施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切な施設の管理運営を行い、地域活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。	主たる内容	市民館の管理運営						
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設維持管理要綱							
		対象者	市民	事業期間	昭和61年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全22館） 		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全22館） 		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全22館） 		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全23館） 		
成果		指定管理者である各市民館運営委員会からの報告や経年劣化状況を踏まえ、施設の修繕や樹木の剪定を行った。								
課題		今後とも地域の実情に応じ、地域に愛される市民館として、適切に施設の管理運営を実施するため、指定管理者である各市民館運営委員会との連携を密にし、施設の状況把握に努める。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
成果指標	利用者満足度（％）		95.5	90.9	86.4	90.0	90.0			
指標										
他市との比較検証	類似事例なし									
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費①		24,281	24,760	24,890	27,570	合計	24,889,671 円		
	財源	特定財源	39	19	18	34	需用費	2,830,626 円		
		一般財源	24,242	24,741	24,872	27,536	役務費	169,504 円		
	職員人件費②		3,296	2,508	2,734	2,234	委託料	21,889,541 円		
	総事業費（①+②）		27,577	27,268	27,624	29,804				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	11					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	指定管理者により、適切に市民休暇村の管理運営を行い、市民の福祉の増進を図る。	主たる内容	市民休暇村の管理運営					
	位置づけ								
	根拠法令	刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則							
	対象者	市民		事業期間	平成10年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 施設又は設備の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 施設又は設備の修繕 備品の更新 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 施設又は設備の修繕 備品の更新 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 備品の更新 	
成果		指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、令和2年2月までは80%を超える客室稼働率を維持することができ、市民の福祉の増進を図ることができた。							
課題		施設又は設備の老朽化などから今後は80%を超える稼働率を維持することも困難となることが予想される。指定管理者の管理運営に対するモニタリング、指導、助言を行い、リピーターを大切にしつつ新規利用者の獲得に努めるなど稼働率の維持拡大を図る必要がある。							
他市との比較検証		尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」継続運営 豊田市「リゾート安曇野」H31.3.31廃止済 岡崎市「桑谷山荘」H23.12.31廃止済、碧南市「車山みどり山荘」H23.3.30廃止済							
C 事業コスト 建設事業	単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費①	98,879	100,526	105,851	96,470	合計	105,850,968円		
	財源	特定財源	1	1	1	11	役員費	60,541円	
		一般財源	98,878	100,525	105,850	96,459	委託料	98,200,000円	
	職員人件費②	3,102	1,967	1,964	2,120	使用料及び賃借料	3,634,907円		
	総事業費（①+②）	101,981	102,493	107,815	98,590	備品購入費	1,443,960円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		元年度特定財源名称		負担金、補助及び交付金	2,511,560円	
元年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			北部生涯学習センター施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	12							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	指定管理者により、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。	主たる内容	北部生涯学習センターの管理運営					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営	
成果		市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習を推進した。							
課題		利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
成果指標	北部生涯学習センター稼働率（％）		33.0	32.9	30.3	20.0	30.0		
成果指標	北部生涯学習センター利用者数（人）		74,584	74,901	64,937	50,000	70,000		
他市との比較検証	知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席								
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費①		116,050	91,958	93,491	106,729	合計	93,490,563 円	
	財源	特定財源	16,004	16,081	14,379	15,592	役務費	51,121 円	
		一般財源	100,046	75,877	79,112	91,137	委託料	93,439,442 円	
	職員人件費②		2,714	2,392	2,002	1,742			
	総事業費（①+②）		118,764	94,350	95,493	108,471			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		社会教育施設使用料					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			南部生涯学習センター施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	12								
P L A N 計 画 要 求	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。	主たる内容	南部生涯学習センターの管理運営						
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成13年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B D O 実 績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・直営による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		
成果		個人利用者を含む、多くの利用者が快適に利用できるよう適切な管理を行った。								
課題		施設の適切かつ効率的な維持管理（節電などの強化）を行いながら、利用者に快適に利用していただけるよう、施設の管理運営を行う必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
成果指標	南部生涯学習センター稼働率（％）		42.9	41.5	41.5	30.0	40.0			
成果指標	南部生涯学習センター利用者数（人）		47,370	45,695	44,730	30,000	40,000			
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		97,831	87,329	84,473	96,327	合計	84,472,803 円		
	財源	特定財源	24,919	9,706	9,517	9,704	需用費	15,995,087 円		
		一般財源	72,912	77,623	74,956	86,623	役務費	80,188 円		
	職員人件費 ②		6,204	2,778	2,002	1,742	委託料	65,820,515 円		
	総事業費（①+②）		104,035	90,107	86,475	98,069	使用料及び賃借料	2,577,013 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		社会教育施設使用料 土地建物貸付収入						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	13								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切に総合文化センターの管理運営を行い、生涯学習の機会及び文化芸術活動の発表の場を提供する。	主たる内容	総合文化センターの管理運営						
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成21年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 施設又は設備の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 施設又は設備の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 施設又は設備の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 施設又は設備の修繕 		
成果		生涯学習及び文化芸術の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習の推進及び文化芸術の振興に寄与した。								
課題		指定管理者により適切に施設の管理運営が行われるようモニタリングを実施し、指定管理者への指導等を行っていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
成果指標		大ホール稼働率（%）		89.6	89.3	70.5	40.0	80.0		
成果指標		総合文化センターに対する満足度（%）		96.1	97.0	97.3	90.0	90.0		
他市との比較検証		知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席								
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費①		478,473	477,363	482,038	519,540	合計	482,037,984円		
	財源	特定財源	124,801	132,461	110,506	129,090	需用費	64,098,361円		
		一般財源	353,672	344,902	371,532	390,450	役務費	752,169円		
	職員人件費②		3,024	1,736	1,964	1,515	委託料	412,389,000円		
	総事業費（①+②）		481,497	479,099	484,002	521,055	使用料及び賃借料	4,750,454円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		社会教育施設使用料						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			集会所設置等補助事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	集会所の管理に必要な経費の一部を補助することにより、地域活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。	主たる内容	○集会所借地料補助 ○集会所運営費補助 ○集会所修繕費補助						
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令		集会所設置等補助金交付要綱						
		対象者	市民	事業期間	～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 集会所運営費補助（33か所） 集会所借地料補助（9か所） 集会所修繕費補助 		<ul style="list-style-type: none"> 集会所運営費補助（33か所） 集会所借地料補助（9か所） 集会所修繕費補助 		<ul style="list-style-type: none"> 集会所運営費補助（33か所） 集会所借地料補助（9か所） 集会所修繕費補助 		<ul style="list-style-type: none"> 集会所運営費補助（33か所） 集会所借地料補助（9か所） 集会所修繕費補助 		
成果		集会所の維持管理に要する運営費、借地料及び修繕費を補助することにより、地域住民の負担を軽減し、地域活動の拠点を確保に寄与した。								
課題		補助金の額、交付方法及び交付時期については、今後も継続して4年に1度、全庁的な補助金の見直しの時期に合わせて検討する。 また、集会所管理者への制度周知を実施し、集会所の維持に貢献する。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
活動指標	集会所修繕費補助件数（件）		3	2	12	6	3			
成果指標	補助により運営を維持できた集会所数（箇所）		33	33	33	33	33			
他市との比較検証	類似事例なし									
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		8,383	8,957	13,167	13,214	合計 13,166,932 円			
	財源	特定財源	7	7	6	7	負担金、補助及び交付金 13,166,932 円			
		一般財源	8,376	8,950	13,161	13,207				
	職員人件費 ②		2,404	1,505	1,502	1,401				
	総事業費（①+②）		10,787	10,462	14,669	14,615				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入				
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設補修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	13							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	総合文化センターの施設又は設備の老朽化に伴う補修を行うことで、安全で快適な施設を維持する。			主たる内容	施設又は設備の修繕			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		――		<ul style="list-style-type: none"> 冷温水発生機RH-2修繕 空調ポンプ修繕 中央監視装置修繕 舞台機構減速機潤滑油交換 大ホール、小ホール、リハーサル室1 施設棟周囲インターロッキング補修 		<ul style="list-style-type: none"> 冷温水発生機RH-1修繕 駐車場エキスパンションジョイント蓋修繕 上水、雑用水加圧給水ポンプユニット修繕 空調機用自動制御ダンパ操作器等取替 直流電源装置蓄電池取替 		<ul style="list-style-type: none"> 冷温水発生機RH-3修繕 舞台照明設備等修繕 	
成果		老朽化した施設又は設備を補修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。							
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、継続的かつ適切に補修を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		大ホール稼働率（%）		89.6	89.3	70.5	40.0	80.0	
成果指標		総合文化センターに対する満足度（%）		96.1	97.0	97.3	90.0	90.0	
他市との比較検証		知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費①		0	35,813	18,637	16,546	合計	18,637,080円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	18,637,080円	
		一般財源	0	35,813	18,637	16,546			
	職員人件費②		0	1,119	1,348	644			
	総事業費（①+②）		0	36,932	19,985	17,190			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設改修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	13					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	総合文化センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修を行うことで、安全で快適な施設を維持する。			主たる内容	施設又は設備の改修			
	位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画、刈谷市公共施設等総合管理計画ほか 根拠法令 刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成29年度～令和元年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・駐車場斜路防滑工事		_____		・小ホール楽屋喫煙室改修 ・大ホール楽屋喫煙室改修		_____	
		成果	老朽化対策、社会に求められる機能追加などを目的として施設や設備を改修し、安全で快適な施設を維持することができた。						
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標	大ホール稼働率（％）		89.6	89.3	70.5	40.0	80.0		
成果指標	総合文化センターに対する満足度（％）		96.1	97.0	97.3	90.0	90.0		
他市との比較検証	知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席								
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費①		3,013	0	2,200	0	合計	2,200,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	2,200,000円	
		一般財源	3,013	0	2,200	0			
	職員人件費②		1,163	2,700	193	0			
	総事業費（①+②）		4,176	2,700	2,393	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			北部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	12					担当係	施設係	
P L A N ハ 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	北部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。				主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕		
	位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画 根拠法令 刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B D O ハ 実 施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 研修室棟2階排煙窓防水工事 メインホール照明器具取替（ホリゾントライト） 多目的ホールスクリーン取替 体育室前トイレ換気扇取替 		<ul style="list-style-type: none"> メインホール舞台音響設備制御機器改修 防火シャッター危害防止装置取付 研修室棟他屋上防水工事 メインホール舞台機構修繕（ワイヤーロープ） 浄化槽設備修繕 		<ul style="list-style-type: none"> メインホール舞台音響設備改修（調整ミキサー卓等） 防犯カメラ設置 非常用蓄電池触媒栓取替 		<ul style="list-style-type: none"> メインホール緞帳修繕 空調設備自動制御装置取替 自家発電機始動用蓄電池取替 電話交換機取替 メインホール及び多目的ホール音響設備改修 	
		成果	老朽化した施設又は設備を改修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。						
課題		県が平成2年に開館した施設（愛知県勤労福祉会館）の譲渡を受け、市が生涯学習センターとして転用利用している施設であるため、施設又は設備の老朽化により不具合が生じている。適切な時期に予防保全を実施し、長寿命化を図る必要がある。							
指標名称（単位）		実績値		目標値					
	29年度	30年度	元年度	2年度	4年度				
成果指標	北部生涯学習センター稼働率（％）		33.0	32.9	30.3	20.0	30.0		
成果指標	北部生涯学習センター利用者数（人）		74,584	74,901	64,937	50,000	70,000		
他市との比較検証	知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席								
C 事 業 コ ス ト V	単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①	10,020	21,653	41,925	14,586	合計	41,924,580 円		
	財源	特定財源	0	0	27,714	0	需用費	1,198,800 円	
		一般財源	10,020	21,653	14,211	14,586	工事請負費	40,725,780 円	
	職員人件費 ②	2,443	1,350	1,348	1,249				
	総事業費（①+②）	12,463	23,003	43,273	15,835				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		前年度繰越金					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			南部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	12							
PLAN概要	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	南部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。	主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の劣化状況調査					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画						
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
B事業実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
	<ul style="list-style-type: none"> 加藤与五郎展示室・收藏庫展示用資料製作 加藤与五郎展示室改装工事 加藤与五郎展示室調光型照明器具等取替工事 デッキテラス修繕 地下機械室煤煙濃度計取替 多目的ホール壁有孔ボード張替 		<ul style="list-style-type: none"> 空調機（10台）取替 立体駐車場移動式粉末消火設備取替 照明制御盤更新 冷却水温水ポンプ軸受取替 冷却塔修繕 自家発電設備蓄電池取替 防犯カメラシステム修繕 エントランスホール修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 空調機（8台）取替 電話交換設備取替 シャワー便座設置 防犯カメラ増設 		<ul style="list-style-type: none"> 空調機（7台）取替 屋上防水改修 駐輪場増設 外壁調査 		
	成果	老朽化した施設又は設備を補修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。							
	課題	施設又は設備の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。							
C事業コスト	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
	成果指標	南部生涯学習センター稼働率（％）	42.9	41.5	41.5	30.0	40.0		
	成果指標	南部生涯学習センター利用者数（人）	47,370	45,695	44,730	30,000	40,000		
他市との比較検証									
建設事業	単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①	9,259	23,711	11,373	13,527	合計	11,372,568 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	11,372,568 円	
		一般財源	9,259	23,711	11,373	13,527			
	職員人件費 ②	2,210	964	1,348	1,249				
	総事業費（①+②）	11,469	24,675	12,721	14,776				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			市民館施設改修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	市民館の施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。		主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画						
		根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設整備要綱						
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 中部、高津波、高須市民館 ・外壁改修 高須市民館 ・駐車場改修 熊市民館 ・大規模改造工事設計委託 西境市民館 ※市民館施設補修事業で実施		<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 築地、小山、半城土市民館 ・外壁改修 半城土市民館 ・駐車場改修 中部市民館 		<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修、外壁改修 泉田、一ツ木、元刈谷市民館 ・畳表替修繕 井ヶ谷、東境、桜、中部、元刈谷市民館 		<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の改修（繰越） 刈谷中部、今川、東刈谷市民館 ・外壁改修 刈谷東部市民館 ・便所改修 ・畳表替修繕 高津波、重原、今岡、築地、小垣江市民館 	
成果		公共施設維持保全計画及び指定管理者である各市民館運営委員会との補修箇所の協議に基づき、施設又は設備の修繕を行い、適切な施設の維持管理を行った。							
課題		空調機については、各市民館の建設年次及び空調機の設置年次からの経過年数を基に取替計画を策定し、各市民館運営委員会からの故障・不具合報告を踏まえ、計画的に実施する。今後、経年劣化により設備の不具合の増加も予想されることから、常に各市民館の状況を把握していく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		空調機更新率（％）			79.0	79.0	79.0	88.4	97.8
活動指標		外壁改修率（％）			40.9	45.5	59.1	63.6	77.3
他市との比較検証		類似事例なし							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	35,286	31,797	38,203	合計	31,796,600 円	
	財源	特定財源	0	0	166	0	需用費	669,600 円	
		一般財源	0	35,286	31,631	38,203	工事請負費	31,127,000 円	
	職員人件費 ②		0	1,582	1,579	1,628			
	総事業費（①+②）		0	36,868	33,376	39,831			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		建物共済保険金収入					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			公民館運営事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進			主たる内容	○公民館運営委託 ○備品購入補助 ○公民館連絡協議会補助 ○公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		
		基本施策	参加・協働						
		施策の内容	地域活動の推進						
	目的	公民館活動の運営を行い、地区活動の活性化を図り、社会教育の活性化を目指す。				主たる内容	○公民館運営委託 ○備品購入補助 ○公民館連絡協議会補助 ○公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	地区公民館備品等整備事業補助金交付要綱						
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(19地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(20地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(22地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助 ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員(館長・主事・書記)への謝礼	
成果		・各地区公民館へ事業委託及び備品購入補助を行い、公民館活動の活性化を図った。							
課題		・各地区の特性を生かした活動が行えるような支援を検討していく必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		公民館活動事業数(事業)			158	160	160	160	165
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(予算)	元年度事業費内訳	
	事業費①		13,728	13,526	14,241	24,056	合計	14,240,602円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料負担金、補助及び交付金	10,337,000円	
		一般財源	13,728	13,526	14,241	24,056		3,903,602円	
	職員人件費②		4,808	2,855	3,235	2,650			
	総事業費(①+②)		18,536	16,381	17,476	26,706			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							